

2021年08月03日(火)【外為Lab】松田哲

タイトル:【オリンピック競技に、絶対はない】

東京オリンピックも終盤を迎えつつある。

個人的には、コロナウィルスの感染拡大が続く中でのオリンピック開催には反対だが、オリンピックに臨んでいる競技者たちに、なんら瑕疵はない。

競技者たちは、それぞれの競技で、素晴らしいパフォーマンスを示している。

今回のオリンピックに限ったことではないのだろうが、メダル確実と予想された選手が、予選で敗退するなど、想定外のことも起きている。

逆に、事前には、あまり注目されていなかった競技で、メダルを獲得することも、多々起きている。

勝負事は、やってみないと分からない。

そういったところは、相場とよく似ている。

相場に絶対はない。

しかしながら、事前の予想でも金メダルで、実際に金メダルを獲得した選手たちも存在する。

オリンピックにも絶対はないはずなのだが、それを、不断の努力で乗り越えて、金メダルを得たのだろう。

ただし、努力が報われずに、身体的な負傷になってしまったケースも散見される。

トレーニングと負傷のバランスを、見極めることは、なかなか難しい。

そういった面も、相場とよく似ている、と感じている。

相場で100%勝つことは、あり得ないし、不可能だ。

だから、場合によっては、負ける可能性を想定して、相場に参入することもあり得る。

もちろん、わざと負けることはあり得ない、あつてはいけない。

しかし、負ける可能性があることを理解した上で、勝負にでることも、たまにある。

勝負に負けた場合は、素直に、速やかに撤退する。

事前に、負ける可能性を想定している場合は、速やかに損切りを行うことができる。

ところが、事前に、負ける可能性を想定せずに、負けてしまった場合は、なかなか損切りに、踏み切れない。

勝負事が、難しいのは、想定外の事象が起こった時に、速やかに対応できるか否かが、その分かれ目になる。

「相場と同じだな・・・」

などと思いながら、東京オリンピックの終盤の勝負に注目しています。

そして、東京オリンピック終了後のコロナウィルスの感染拡大に、危機感を持っています。

+++++

(2021年08月03日東京時間15:20記述)